

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2013.03.04-03.08

\*記事は東京発行・最終版

CHINA

3 月 4 日 ( 月 )

副都心の開発に日本の技術提案  
野村総研 / 都市インフラで提携

野村総合研究所は、北京の副都心開発を手がける北京科技商務区建設と提携した。副都心「北京科技商務区」の開発に日本企業の都市インフラ技術を採用するよう提案する。( 1 面 )

米コーニング、北京に新工場  
液晶用ガラス基板 / 720億円投資

米コーニングは、北京市郊外に液晶ディスプレイ用ガラス基板の新工場を開設した。総投資額は約720億円で、生産能力は非公表。中国で2番目となるTFT用ガラス基板工場となる。( 11 面 )

3 月 5 日 ( 火 )

「第2純正品」で中国製に対抗  
三菱ふそう / 補修用部品 9 割増

三菱ふそうトラック・バスは、補修用部品で純正品よりも安価な第2純正品を約9割増の約150品目に2015年末までに増やす。新興国で中国製などの格安補修用部品に対抗。( 5 面 )

KYB、中国に新ライン  
自動車部品 / 米国・ブラジルにも

KYBは、市販用ショックアブソーバ



中国の全国人民代表大会で国家主席に選出される習近平  
中国共産党総書記 (ブルームバーグ)

ーや無段変速機用ポンプなど自動車用部品を中心に成長分野に集中的に投資する。中国と米国・ブラジルでSAの生産ラインを新設する。( 5 面 )

グローリー、中国第3工場  
レジつり銭機など倍増

グローリーは、中国100%子会社・光栄電子工業に第3工場を完成、4月操業する。中国では紙幣整理機、レジつり銭機、入金機などを組み立てており、新工場の稼働で生産能力が倍増。( 7 面 )

イナック、湖州に新工場  
樹脂製作品 / 8 月稼働

イナックは、湖州市に樹脂製作品製造の新工場を8月稼働する。中国で2カ所目。既設レンタル工場を賃借する。MCを5台、3次元測定機1台を導入する。現地生産能力は1.5倍に。( 8 面 )

紙おむつ用フィルム、中国2倍  
トクヤマ / 2 億4000万㎡

トクヤマは、10月に天津市の全額出資子会社の天津徳山塑料で、紙おむつ用微

多孔質フィルムの年産能力を現状比倍増の2億4000万平方センチに拡大する。投資額は約10億円。( 11 面 )

生体肝移植、シンガポールに  
三井物産 / 専門クリニック

三井物産は、国際フロンティアメディカルサポート(IFMS)と共同で、シンガポールに肝臓疾患・生体肝移植専門クリニックを開設する。当局の許認可を取得し、5月の開業を目指す。( 12 面 )

ニプロ、ミャンマーに現法  
透析器具を拡販

ニプロは、ミャンマーに2年後をめどに現地法人を新設する検討に入った。主力の透析器具を中心に今後、幅広い医療用機器の需要の伸びが見込めると判断した。( 12 面 )

東芝メディカル、韓国に現法  
CT・MRI / 販売強化

東芝メディカルシステムズは、韓国に現地法人を設立する。韓国Tメディカルシステムズの全株式を取得し、4月に営業を始める。CTやMRIといった主力製品の現地販売を強化。( 12 面 )

味の素、アミノ酸を倍増  
医薬用・食品用 / 年2500ト

味の素は、中国で医薬用・食品用アミノ酸の生産能力を倍増する。子会社、上海味の素アミノ酸の工場に約13億円を投じて生産能力を年1200ト強から2500トに倍増、10月から供給を始める。( 15 面 )

3 月 6 日 ( 水 )

経済成長目標7.5%  
中国・全人代開幕 / 大気汚染対策も

中国の第12期全国人民代表大会(全人代)が5日開幕した。2013年の経済成長率目標を昨年と同様7.5%前後と設定。大気汚染の深刻化には人民の健康を守る方針を表明。(時事=2面)

国際ローミングインで協業  
NTTドコモ / 日中韓

NTTドコモは、中国移动通信と韓国KTと無線通信規格「Wi-Fi」の国際ローミングインでの協業と、近距離無線通信の共通仕様を策定した。1社と契約すれば日中韓で利用できる。(9面)

液晶フィルム、日中すみ分け  
サンエー化研 / 中国は幅広液晶TV用

サンエー化研は、液晶パネル部材向け保護フィルムの製造を、日本と中国ですみ分ける。来春稼働の中国で2割幅広の液晶テレビ向けフィルムを生産。日本ではスマホ向け中小型。(10面)

中国でロストワックス鋳鋼品  
三條金属 / 月60ト

三條金属は、中国でロストワックス鋳鋼品の本格生産を始めた。中国山東省青島に全額出資の現地法人「青島三條金属」を設立し、建設機械部品と建築金物向けに月60トの鋳鋼品を生産する。(20面)

3 月 7 日 ( 木 )

コフロック、上海に販社  
微量流量計・流量制御バルブ

コフロックは、上海市に全額出資の販

売子会社「コフロック上海」を3月中に開設する。主力製品の精密な微量流量計や流量制御バルブを、中国の日系顧客などに販売拡大する。(7面)

日立化成、南通の子会社が稼働  
食品包装用資材 / 太陽電池フィルム

日立化成は、江蘇省南通市で2011年4月に設立した全額出資子会社「日立化成工業(南通)化工」が本格稼働した。建材や車用塗料、食品包装用資材などの化学品や太陽電池用フィルム。(10面)

アジア技研、タイに現法  
バンコク / スタッド溶接機

アジア技研は、タイ・バンコク市に現地法人を2013年末をめどに設立する。電気機器を中心に現地企業のスタッド(おねじ・めねじ)溶接需要が増えているため進出を決めた。年間200台。(24面)

3 月 8 日 ( 金 )

ジャニス工業、中国を開拓  
上海ショールーム / トイレ・衛生陶器

ジャニス工業は、中国市場を開拓する。トイレや洗面用衛生陶器を拡販、中国の住設機器販売会社と販売代理店契約を結び、上海市内にショールームを開設した。年内に製品を投入。(11面)

住宅の部材で中国合併  
大和ハウス / 高級分譲地に納入

大和ハウス工業は、浙江省紹興市に低層工業化住宅の部材を生産する合併会社を設立する。すでに高級分譲地での納入が決まっており、初年度の売上高は2億6000万円(約39億円)を計画。(11面)

ASIA

3 月 4 日 ( 月 )

インドに「ダットサン」  
日産 / 30万 - 50万円

日産自動車は、仏ルノーと共同開発中のインド市場向けの超低価格車を、新興国専用ブランド「ダットサン」にする方針を固めた。超低価格30万円から売れ筋の50万円をカバー。(7面)

2012年のインド新車販売台数		
	社名	販売台数
1	マルチ・スズキ	106.4( 6.6)
2	タタ・モーターズ	83.6( 4.2)
3	マヒンドラ&マヒンドラ	44.9(24.4)
4	現代自動車	39.1( 4.7)
5	トヨタ自動車	17.2(31.0)
9	ホンダ	7.1(44.0)
12	日産自動車	4.5(97.3)
単位万台、カッコ内は前年比増減率%		

台湾セブンイレブンにPOS  
NEC / 端末1万1000台納入

NECは、台湾セブンイレブンにPOS端末と発注端末を納入した。受注額は40億円規模。POS端末1万1000台、発注端末1万台。台湾セブンは現地で5000店舗を展開。(10面)

高強度バネ用鋼線、アジアにも  
鈴木住電ステンレス / 内外で拡販

鈴木住電ステンレスは、強度が約25%高い高強度バネ用ステンレス鋼線を国内外で拡販。国内在庫販売の体制整備、アジアにも販売。2014年度に国内で年100ト規模の出荷を目指す。(11面)

シンガポール雑貨、日本1号店  
オンワード / 東京・原宿

オンワードHDIは、シンガポールのファッション雑貨ブランド「チャールズ&キース」を日本市場で3月から本格的に展開する。4月6日には東京・原宿に日本第1号店。3年後に40店。(14面)

3 月 5 日 ( 火 )

東南アにピアホール  
サッポロライオン / 10店舗体制

サッポロライオンは、シンガポールに

ピアホールを2014年春にオープンする。タイ、ベトナム、マレーシアにも展開し2017年に10店舗体制を目指す。ベトナム工場の年産を15万%増に。(1面)

タイで自動車用アルミ電線  
住友電工 / 月産100ト

住友電気工業は、タイで自動車用アルミ電線の量産を2014年9月始める。月産能力は約100ト。自動車用ワイヤハーネス(アルミハーネス)の需要拡大に対応。東南アジアや中国向け。(5面)

空港の運営、欧・アジアに展開  
ダイフク / 高付加価値化

ダイフクは、米子会社が北米で手がける空港施設の運営サービス事業を、欧州・アジアに水平展開。空港手荷物搬送システムと自動倉庫を組み合わせ、サービスを加えて差別化。(7面)

アズビル、タイに生産子会社  
自動制御機器 / 日中から移管

アズビルは、タイに自動制御機器の生産子会社を設立した。8月をめどに操業。空調用コントローラーなどの日本、中国での製造をタイに移管し、生産コストを削減する。(8面)

韓国電気研究所から受注  
日立 / 短絡発電機 2 基

日立製作所は、韓国電気研究所から送変電設備の試験に使う短絡発電機と周辺設備を受注。受注額は約30億円。2000キロワット級2基を2015年に納入する。遮断器、駆動用モーターなども。(9面)

アジアのコンビニ開拓  
NEC / マレーシアに戦略拠点

NECは、小売業の顧客開拓に向けたアジア太平洋地域の戦略拠点をマレーシアに設置する。コンビニエンスストアなどのシステムの企画・開発から保守・運用を現地主導で展開。(10面)

JSR、タイ増産年 3 万9000ト  
車の窓枠・樹脂成形品材料

JSRは、6月にタイ・ラヨーン県の合併会社「エラストミックス・タイランド」において、自動車の窓枠や樹脂成形品に使う材料の年産能力を約6割増の3万9000トに拡大する。(11面)

岡谷銅機、インドなどに新拠点  
自動車・鉄鋼向け事業拡大

岡谷銅機は、東南アジアと北中米の営業拠点を拡充する。3月のタイに続き、

4月にインドと米国、5月にメキシコで事務所を開設する。自動車や鉄鋼、機械関連などでの事業拡大。(11面)

郵船ロジ、インドに4新倉庫  
14カ所 / 総面積約7万㎡

郵船ロジスティクスは、インドに新倉庫を四つ開設した。現地倉庫は14カ所、総面積は約7万平方センチ。家電や消費財、アパレルなどに梱包、仕分け、保管、在庫管理、物流加工などを提供。(15面)

3 月 6 日 ( 水 )

伊藤忠丸紅鉄鋼が出資  
TDF / インドネシア車部品合併

TDFは、インドネシアに設立する自動車部品製造の合併会社「Tフォージインドネシア」に伊藤忠丸紅鉄鋼が資本参加する。鋼材調達などの面で商社のノウハウを生かし、事業拡大。(5面)

川重、韓国で受注  
フェロニッケル / 年2万4000ト

川崎重工業は、韓国SNNCから、鉄・ニッケル合金のフェロニッケルのプラント向け主要設備を受注した。受注額は約35億円。生産能力はニッケル含有量ベースで年間2万4000ト。(6面)

ダイフク、東南アで本格展開  
食品・医薬品・流通向け物流システム

ダイフクは、東南アジアで、食品や医薬品、流通業向けの物流システム事業を本格展開する。鋼材調達の点で商社のタイを中心に需要が急増。流通系の受注に即応できる体制づくりを急ぐ。(6面)

DC、東南ア専用モデル  
コンテナ型 / 日立システムズ

日立システムズは、コンテナ型DCの東南アジア専用モデルをタイで発売した。各国で専用モデル。空調能力向上や45度Cの外気に耐えられる設計など東南アジアの気候に対応。(9面)

ベトナム水道管理システム受注  
国際航業 / 現地仕様で改良

国際航業は、ベトナムのトゥア・ティエン・フエ省水道公社から、経費削減など可能な水道施設維持管理システムを受注。ベトナム向けに改良し、データの作成や運用の研修教育も支援。(11面)

東南アの物流施設増床  
郵船ロジ / タイなど3カ国

郵船ロジスティクスはタイ、インドネ

シア、マレーシアで物流拠点を増設する。タイ南部で倉庫面積約4万平方センチの物流施設を増設。東南アジア3カ国の総倉庫面積は18%増える。(13面)

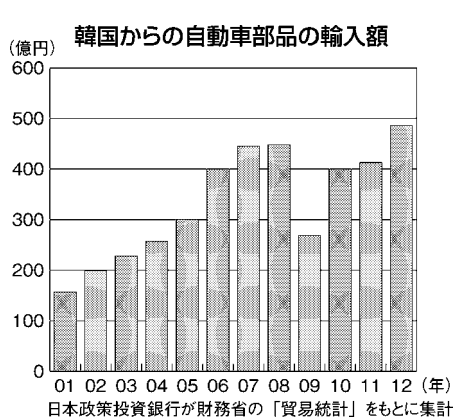
3 月 7 日 ( 木 )

シャープ再建のカンフル剤  
サムスンが出資

シャープは、サムスン電子と資本提携する。鴻海精密工業との交渉が行き詰まり、シャープにとってサムスンとの関係強化は経営再建を加速させるためのカンフル剤だが…。(深層断面=30面)

韓国・車部品 - 存在感高まる  
品質に評価 / 現代自と歩調

韓国から自動車部品の輸入が増加している。価格だけではなく、日本製と比べても品質に遜色がない。現代自動車が世界でシェアを伸ばし、その成長を支える韓国メーカーの評価が高まった。(5面)



極東開発、マレーシアで拡販  
販売代理店に出資

極東開発工業は、マレーシアの販売代理店トランセリデントヘビーマシナリーの株式15%を取得した。インフラ整備などで需要拡大を見込む、ミキサ車などの特装车拡販を図る。(5面)

台湾工作機械、国際供給拠点に  
M&A / ICTで保守

台湾工作機械メーカーの世界戦略が加速している。国際的なM&A、ICTを活用したアフターサービスの強化、技術力の強化による商品群の拡充で、国際供給センターとしての地位固め。(6面)

マレーシアIT大手と合併  
日立システムズ

日立システムズは、マレーシアIT大

手サンウェイテクノロジと合併会社を4月に設立する。東南アジア各国に持つ拠点を活用し、現地で事業拡大を図る。2015年度に売上高40億円。(9面)

3 月 8 日 ( 金 )

機械振興協会、台湾団体と連携  
技術底上げ

機械振興協会は、台湾の機械工業団体である台湾区機器工業同業公会(TAMI)と、包括的な連携に向けた覚書を結んだ。機械工業の技術や経済、経営に関する調査・研究で協力。(1面)

豊田通商、インドに第6事務所  
アーメダバード / スズキが新工場計画

豊田通商は、インド・グジャラート州アーメダバード市に駐在員事務所を設置した。インドでは6カ所目。同州でスズキ子会社が新工場建設を計画、自動車部品産業の集積が見込まれる。(5面)

測定工具、東南アで拡販  
新潟精機 / インドネシアに拠点

新潟精機は、測定工具の海外販売を強化する。昨秋にベトナムに現地事務所を設置したのに続き、早ければ4月にもインドネシアに事務所を設ける。新興国需要を取り込む。(23面)

違法ソフト - モノづくりに影  
米国の国内法 / 東南ア敏感に反応

違法ソフトを使った製造を取り締まる米国の国内法。州内で販売される製品が不正ソフトを使っていると提訴の対象。

ワシントン州不正競争  
防止法のポイント

①一般に販売されている情報技術を活用する法令において無権限で事業運営に使用し製品を製造する行為を不正行為とする。

②適用する法令は米国法に限らない。米国外における製造も対象となる。

③競合する事業者及びワシントン州司法官は、違反製造業者に対して損害賠償や差止めを求める民事訴訟を提起できる。

④一定の場合、違法製品の販売業者に損害賠償を求める民事訴訟を提起できる。ただ、その際、一定のセーフ・ハーバー(免責条項)が存在する。

出典・西村あさひ法律事務所の岩瀬ひとみ、浅岡義之両弁護士資料をもとに作成

東南アジアが敏感に反応。日系企業も対岸の火事ではない。(深層断面=28面)

TELOP

タイパーツで起債  
三菱UFJリース(5日19面)

ひと

人の目がキラキラ

「インドネシアに行く」と、人の目がキラキラしている」と、矢崎総業専務の渡辺貢さん。自動車産業をはじめ投資が活発化し、国全体が成長への熱気と期待に包まれている。「新しい分野に夢中で取り組んできた」人の目の輝きに刺激を受けさらに活躍の幅を広げる。(6日=5面)

九州発タイ行き  
「タイは重要エリアだ」と力を込めるのは、JR九州社長の唐池恒二さん。これまで韓国と中国に進出しており、次はインドネシアを視野に入れている。バンコクで鉄道事業や車両デザインの展覧会を予定。九州発、タイ行きへのビジネスの発車は近い?(6日=13面)

日本人の好み研究  
「日本の輸入商社と流通会社に韓国の食品を日本に根付かせる役割を大いに務めてもらっている」と感謝するのは、韓国農水産食品流通公社社長の金在水さん。「日本人の好みやニーズを研究し、さらに輸出を増やしたい」と意欲満々。(7日=15面)

母体の縁  
「ミャンマー視察で旧三井建設が建てたホテルに泊まった。マンションも建てており、日本人駐在員に人気」と、三井住友建設社長の則久芳行さん。「旧住友建設もコンクリート橋などの実績がある。その布石を生かせるはず」と心はずでに進出に動いている様子。(8日=11面)

通信講座

不況に強い「特 技 取 得」

テクニカル・イラストレーターになるう。

4ヵ月でマスターできる、基礎から専門技術まで。

いま、特技を身につけよう!!

テクニカルイラストは、広告、カタログ、取扱い説明書などの製作には不可欠なビジュアル。しかし、欧米に比べ、日本ではテクニカル・イラストレーターの不足が指摘されています。当協会では、基礎から専門技術までを短時間で取得できるカリキュラムを編成。多くの講座修了生が産業広告界の即戦力として活躍しています。

BBAA

一般社団法人 日本 BtoB 広告協会

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町 2-11-3 東信水天宮ビル  
TEL 03-5645-8852 FAX 03-5645-8853  
http://www.bbaa.or.jp

基礎コース開講期間●申込時より約4ヵ月

教育内容●立体図法の90%を占めるアイソメトリックス・プロジェクト、アイソメトリック・ドローイングを中心に基礎から自社製品の作図まで徹底指導。

修了証書●既定の単位を取得した受講生には日本BtoB広告協会認定の終了証を授与します。

受講料●1名 ¥31,500(会員は27,300円)テキスト、副読本、用具、添削指導を含む。

定員●40名

※後援/日刊工業新聞社